

松阪市子ども支援研究センターだより

E-mail: kyo.div@city.matsusaka.mie.jp <http://www.city.matsusaka.mie.jp>

松阪教育支援センター「鈴の森教室」TEL 26-1900 FAX 26-1901 E-mail: suzunomori@matsusaka.ed.jp
松阪教育支援センター「うれしの教室」TEL 42-7374 FAX 42-4568 E-mail: uresino-k@matsusaka.ed.jp

実り多き秋になることを願って



実りの秋を迎えました。各園・学校におかれましては、園・校内研修をさらに深めていただく時期となり、多くの保育・授業研究が予定されていることかと思えます。当センターにおいても長期研修員の二人が、市内4小学校の協力を得て、各々の教育課題研究に取り組んでいます。年度末には、その研究成果を研究集録という形で皆さんのもとにお届けさせていただき予定ですが、協力校の担任の先生をはじめとする先生方や児童の皆さんに感謝しつつ、現在の研究の様子を報告させていただきます。(山本 嘉)

児童の課題に即し学力向上をめざした国語科の授業づくりの研究 —全国学力・学習状況調査の結果を活用して—

本年度、「学力向上」を研究テーマとして、上記の研究主題で研究に取り組んでいます。

研究協力校におけるこれまでの全国学力・学習状況調査の国語の結果を「領域」「解答方式」「問題の趣旨」「解答類型」をもとに経年分析し、具体的な課題を明らかにし、その改善に向けた授業づくりに取り組んでいます。その中で、「要旨をとらえる」「条件に合わせて書く」「目的や意図に応じて自分の意見を書く」の3点を重点的な課題とし、5年生における「書く活動」を通じて改善を図る授業づくりの実践と考察をしています。

「単元を貫く言語活動」を授業づくりの柱として、前期は伝記「百年後のふるさとを守る」で「人物紹介事典づくり」を設定しました。児童は、教材文の記述から被伝者の業績に着目して年表をつくったり、筆者の意見を200字以内に要約したりしました。また、被伝者の生き方と照らし合わせて自分の生き方について書く学習活動に取り組みました。これらにより、「語句に着目して要点をとらえること」や「条件に合わせて要約すること」についての課題改善を図る授業を行いました。

後期は説明文「天気を予想する」において、「リーフレットづくり」を「単元を貫く言語活動」として設定しています。文章の要点をとらえるために、キーワードや段落の文章構成に着目して中心文を見つけたり、見つけた中心文をつなげて教材文を300字以内に要約したりする学習活動を設定しています。この「リーフレットづくり」においても、「要点をとらえるための読み方」や「要約の技能の習熟」をねらいとした授業を行いたいと考えています。

(長期研修員 松本勝之)

郷土の偉人に学ぶ授業づくりⅣ —松阪開府の祖 「蒲生氏郷」に学ぶ—

蒲生氏郷は、1556年に近江国日野(現在の滋賀県)で生まれました。1584年に、豊臣秀吉の命により、伊勢国松ヶ島(現在の松阪市)の領主となった氏郷は、松ヶ島から4キロメートルほど離れた「四五百森」という小高い丘に新たな城を築き、城下町を「松坂」と名づけまし

た。氏郷は、参宮街道を城下町に移動させたり、楽市楽座を定めたりするなどの政策を行い、城下町が発展する基礎を築きました。また、氏郷は武将であると同時に茶道や和歌などに親しむ文化人でもありました。

本研究では、児童が氏郷を通して松阪の歴史を学ぶことにより、郷土の歴史への興味・関心を高めるとともに、郷土への誇りと愛着を育てたいと考えました。6月から7月にかけて、市内の小学校2校において6年生を対象に、松坂城や旧長谷川邸でのフィールドワーク、郷土の歴史について詳しいゲストティーチャーを招いての授業実践などを行いました。今後は、児童の発言や感想をもとに、学習における手だてなどについて考察し、研究の成果や課題をまとめていく予定です。

(長期研修員 更屋博史)

社会科副読本編集委員会

(訪問校)

第二・徳和・港・幸・第一・第四・朝見・機殿・松江・花岡・豊田・天白・鶴・米ノ庄・小野江
—ご協力ありがとうございました—

「第1章 わたしたちの住んでいるところ」

「1 校区の絵地図をつくろう!」には、屋上からの風景、校舎の写真が掲載されています。

その写真の更新のため、夏季休業中の8月22日(金)に市内15小学校を訪問し、撮影させていただきました。編集委員には、在籍校以外の校舎の屋上へ上らせていただく貴重な体験をさせていただきました。屋上から東西南北を眺めると、取材をさせていただきながら、いつもとはちがう景色や心地よい風に、心がすーっとする時間を持つことができました。

他に、第2章では、「お店に行って調べてみよう」のお店の工夫、第3章では、「昔からつたわる行事」の松阪のまつり、第4章では、「くらしとごみ」の清掃工場の見学、第5章では、「火さいをふせぐ」の写真や動画、第6章では、動画、第7章では、「県内の特色ある地いきを調べる」の完成と、編集委員が資料を集め、取材し、それをもとに委員会で検討し、更新作業を続けています。ぜひ、学習にご活用ください。

お願い

今年度も「社会科副読本ホームページに関するアンケート」を実施します。3・4年の社会科の授業をされている先生方、ぜひご協力ください。アンケート結果については、後日、ご報告させていただきます。

書籍紹介

★今年度研修講座講師の著書を購入してあります。一部を紹介いたしますので、ご活用ください。(貸し出し可)

講座名	講師名 (敬称略)	書名
国語	桂 聖	授業のユニバーサルデザイン入門 どの子どもも楽しく「わかる・できる」授業のつくり方
外国語活動/外国語	直山木綿子	小学校外国語活動のツボ
乳幼児教育	小川 雄二	子どもを伸ばす食育の知識
学級づくり	金 大 竜	新任3年目までに身につけたい クラスを動かす指導の技術!
学級づくり	増田 修治	「ホンネ」が響きあう教室 どんぐり先生のユーモア詩を通じた学級づくり
特別支援教育	十一 元三	子供と大人のメンタルヘルスがわかる本 精神と行動の異変を理解するためのポイント 40
特別支援教育	松久 眞実	発達障害の子どもを二次障害から守る! あったか絆づくり -問題行動を防ぐ! ほめ方・しかり方、かかわり方-
道徳	鈴木 健二	必ず成功する! 新展開の道徳授業
情報教育	中川 一史	ICTで伝えるチカラ 50の授業・研修事例集
音楽	高倉 弘光	〔共通事項〕が見える 子どもがときめく音楽授業づくり